

2024年4月10日

株式会社小田急エージェンシー

～屋外広告は「見る」から「体験する」へ。～

XR 広告を 3D ビジョンに融合させた 次世代コミュニケーションの実証実験をおこないます

株式会社小田急エージェンシー(本社：東京都新宿区 取締役社長：山口淳 以下、小田急エージェンシー)は、小田急電鉄株式会社(本社：東京都新宿区 取締役社長：鈴木滋 以下、小田急電鉄)と連携し、Tesla Motors Japan 合同会社と、株式会社 palan(本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：齋藤瑛史)の協力のもと、XR 技術と 2024 年 4 月に新宿駅南口に新規設置した裸眼 3D 対応屋外広告媒体「新宿サザンテラスビジョン」を使用した広告の実証実験を行います。



[左画像]新宿サザンテラスビジョンでの立体錯視映像放映イメージ



[右画像] XR 体験時のスマートフォン画面イメージ

この検証は XR 技術を裸眼 3D 対応屋外広告媒体と掛け合わせることで、従来の広告に XR によって付加価値を持たせ広告的価値が向上するかを検証するほか、XR 技術の発展に向けた技術的課題の洗い出しや屋外広告の新たなルール作りの素地づくりや課題点などを抽出することを目的としています。

広告媒体としては従来の屋外広告は“広告主が情報を発信し、通行者はその広告を見る”というものでしたが、今回の取り組みは従来の屋外広告に XR 技術(先端技術)を用い、通行者に従来とは異なる新たな広告体験(没入感や疑似体験ができる情報の提供)の機会を提示することで企業や商品の認知だけでなく、能動的な関与を引きだし、より好ましい態度形成といったブランディングに寄与するかを検証し、今後の屋外物広告の可能性を探ります。

映像コンテンツは Tesla「Cybertruck」や、Tesla の主力製品であるミッドサイズセダンの「Model 3」、2023 年、自動車グローバル販売台数 No.1 となったミッドサイズ SUV の「Model Y」などの走行映像を 3D 映像として放映、その動画内に表示された二次元コードを通行者がスマートフォンで読み取ると Cybertruck に関連した複数の XR 体験ができる特別コンテンツに誘導します。特別コンテンツでは画面上の Cybertruck をラジコンのように自由に操ることができたり (AR)、Cybertruck の乗車視点の疑似体験ができる (VR) など特別なコンテンツを用意しています。この XR コンテンツの体験に際しては特定のスマートフォンアプリのダウンロードを必要とせず、株式会社 palan の提供する WebAR プラットフォーム「palanAR」により Web ブラウザでの AR 体験が可能となる事で、デジタルサイネージからスマートフォン画面へのシームレスな広告体験を実現しています。

当社は小田急電鉄と共創し XR 事業の推進に取り組んでおり、本施策はその一環として実施します。今回の効果検証により広告主や屋外広告媒体の価値向上の可能性を探り、小田急線沿線の屋外広告物の開発に活かします。また、両社で XR 技術の活用と発展に貢献できるよう今後も研究を重ね、様々な共創パートナーとともにこのような取り組みを継続していきます。

今回の効果検証の概要は下記の通りです。

記

1. 名称：～屋外広告は「見る」から「体験する」へ。～ OOH×XR 実証実験
2. 実施期間：2024 年 4 月 17 日(水)～4 月 30 日(火)各日 10:00～17:00
3. 実施・媒体場所：新宿駅南口「新宿サザンテラスビジョン」
4. コンテンツ内容：
 - <新宿サザンテラスビジョン>
 - ・立体錯視を利用した裸眼 3D 映像による広告 (約 30 秒)
 - <XR コンテンツ>
 - ・以下 3 つのモードでの XR 体験
 - (1) AR でラジコンのように Cybertruck 車両を自由に動かす「ドライブモード」
 - (2) VR で Cybertruck 車内乗車風景が見える「コックピットモード」
 - (3) 現行車両ラインナップを閲覧できる「ビューモード」
5. 協力：Tesla Motors Japan 合同会社、株式会社 palan
6. 検証内容：
 - XR は既存の広告媒体の価値を高め得るか、下記のポイントを検証
 - (1) 広告的価値の効果検証
 - (2) 技術面での課題洗い出し
 - (3) ルール面での課題洗い出し
7. 備考：XR 体験に際しては周囲に注意を払ってお楽しみください。

【Tesla Motors Japan 合同会社について】

テスラは、電気自動車や太陽光発電、総合的な再生可能エネルギーソリューションを提供することで、世界の再生可能エネルギーへの移行を加速させています。

https://www.tesla.com/ja_jp

【株式会社 palan について】

株式会社 palan は地方自治体、エンターテインメント業界等、幅広い業界より WebAR のサービス制作・開発を提供しています。デジタルフォトフレームや WebAR 名刺などの話題サービスをどこよりも早く手がけており、更なる WebAR 技術提供に向けた研究開発を推進しています。

<https://palanar.com>

以上

このニュースリリースに関するお問い合わせは

株式会社小田急エージェンシー
新宿エリア事業推進室 担当：内山・田村
press@odakyu-ag.co.jp